

奈良保育学院附属幼稚園 学校評価実施要領

（目的）

第1条 この要領は、奈良保育学院附属幼稚園（以下「本園」という。）の教育活動その他の運営について目標を設定し、目標に向けての取組を本園の運営に関係する者（以下「幼稚園関係者」という）が評価することにより、本園として組織的・継続的な改善を図るために必要な事項を定めるものとする。また、本園がその結果を公表・説明することにより、園・家庭・地域の連携協力による園づくりを進める。さらに、学校評価の結果に応じて支援や条件整備の改善措置を講じることにより、園児の安全・教育を保障するとともに、質の高い幼児教育の推進を図ることを目的とする。

（自己評価委員会）

第2条 自己評価委員会は、本園の園長及び次に掲げる委員をもって組織する。

（1）教頭

（2）その他委員長が必要と決めた保育者。

2 自己評価委員会に委員長を置き、園長をもって充てる。

3 委員長に事故のあるとき又は欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

4 自己評価委員会は委員長が招集し、当該委員長が議長となる。

5 委員長は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求めることができる。

（学校関係者評価委員会）

第3条 学校関係者評価委員会は、委員の定数を3名とし、次の区分に従って本園の園長から委嘱を受けた次に掲げる委員をもって組織する。

（1）教育関係有識者（学園関係者）

（2）保護者（三親会前役員）

（3）幼稚園関係者（正課教室・課外教室講師）

2 学校関係者評価委員会に委員長を置き、委員長は委員の互選でもって充てる。

3 委員長に事故のあるとき又は欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

4 学校関係者評価委員会は委員長が招集し、当該委員長が議長となる。

5 委員長は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求めることができる。

（自己評価委員会の所管事項）

第4条 自己評価委員会は、次に掲げる事項を扱うものとする。

（1）自己評価の実施に関する事項

（2）自己評価の報告書の作成並びに公表に関する事項

（3）その他、委員長が必要と定めた事項

（学校関係者評価委員会の委員の意見）

第 5 条 学校関係者評価委員会の委員は、園長の求めに応じ、次に掲げる事項について意見を述べることができる。

- (1) 園運営や教育活動に関する事項。
- (2) 開かれた園づくりの推進に関する事項
- (3) 園、家庭、地域社会の連携に関する事項
- (4) その他、委員長が必要と決めた事項

(自己評価委員会の委員の任期)

第 6 条 自己評価委員の任期は、委嘱の日から1年間とする。

(学校評価関係者評価委員会の委員の任期)

第 7 条 学校関係者評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の 3 月末日とし、2 年を越えない範囲内で、再任は妨げない。

2 新年度の評議員が委嘱されるまでの間、前年度の評価委員がその職務を代行する。

3 委員が欠けたときは、速やかに新たな委員を委嘱することができる。この場合において、当該委員の任期は前任者の残任期間とする。

(公表)

第 8 条 本園は、第4条に規定する自己評価及び第5条に規定する意見を整理して報告書を作成し、当該報告書を公表するものとする。

(報酬及び交通費)

第 9 条 外部の学校関係者評価委員には、報酬(白藤学園規定による)と交通費を支給する。

(その他)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、学校評価制度に関し必要な事項は、別に定める。

付則

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。